様式１－１

令和3年度　調布市立第二小学校　授業改善推進プラン

学校の教育目標
「かがやけ二小の子」 ・かんがえる子　・がんばる子　・やさしい子（重点）　・けんこうな子

目指す学校像(ビジョン）　例)学校像，教員像，児童・生徒像
Ⅰ　児童　1　自分の考えを広げ深める，主体性のある児童。 2　まわりにやさしく，自分も友達も大切にできる児童。 3　運動に親しみ，健康と安全に努めることのできる児童。 4　何事にも一生懸命にがんばる児童。 Ⅱ　教職員　1　不易，流行を踏まえ，授業力を付け，児童の学力向上を図る。 2　教育公務員としての自覚を持ち，服務の厳正に努める。 3　命の大切さや人権尊重を理解し，一人一人の児童を大切に教育する。 4　前向きで，学び合い，組織人としても自覚を持つ。

ビジョンの設定理由（本校の現状と課題）	・児童: 本校の児童は明るく素直である。また，授業へ落ち着いて取り組む児童が多いが、主体的に基礎・基本の練習や授業へ集中して取り組むことは十分とは言えない。授業の予習や復習など主体的に学習に取り組む姿勢を伸長し確かな学力を充実させたい。同時に，安心安全に配慮し，自らもけがや事故から身を守ることや周りの友達の安心安全にも配慮し行動できる児童の育成が重要と考える。児童は日々成長している。学校生活の中で児童個々の個性や友達との違いに触れ、いろいろな課題に触れる。自分や友達を知ること、考えを発信したり聴いたり会話する中で自分の考えを広めたり深めたりしながら成長する。そのために、教育目標の中の「やさしい子」を重点目標に，人権尊重を基盤とし自分も友達も大切にする温かい心の育成を視点に，徳育の充実，学力向上，体力向上を図ることは重要なことであると考える。 ・教職員：教育公務員としての真摯な態度，前向きな姿勢を更に大切にする。同時に感染症予防の中、教員として果たすべき役割を捉え，日頃の授業を工夫し充実させ学力の向上に尽くす。人権意識，共育の姿勢を更に高め，児童一人一人を大切にする学級経営ときめ細やかな生活指導を充実させること。安心安全な学校にするために児童の指導に誠実に当たる。ことが今，必要と考える。

教科	目指す学校像(ビジョン)を基にした育成したい資質・能力	資質・能力を育成するための具体的取組
国語	ことばがもつ良さに気付き，思いや考えを適切に表現できる。	・物語単元では，登場人物の心情を想像すること，また，豊かな語彙で想像したことを表現することの指導。 ・伝え合うことの楽しさや必要性を感じさせるスピーチや話し合いの充実。 ・辞典の活用。読書活動の充実。
社会	課題を追及したり解決したりする活動を通して，社会的な見方・考え方を養う。	・地域の人材や施設の活用により，具体的で直接的な調べ学習の充実。 ・調べたことや資料から適切に情報を取捨選択する指導。 ・ICT の効果的な活用。
算数	発達段階に応じた数学的活動を通して，論理的思考の素地を養う。	・問題解決の過程を重視した指導。 ・数学的活動の楽しさや良さに気付くことができる授業内容。 ・プログラミング教育への取り組み。

理科	自然の事物・現象に積極的にかかわる活動を通して，理科的な見方・考え方を養う。	・予想や仮説など，見通しをもった観察・実験の充実。 ・方法－予想－結果－考察―まとめなど一連の学習の過程が分かるノート指導。 ・ICT の効果的な活用。
生活	楽しい体験を通して，生活を豊かにしようとする態度を育てる。	・自然や地域の人材，施設を活用し，児童の意欲を引き出す単元構成の充実。 ・学習内容が生活上必要な習慣や技能の獲得につながっていく指導。 ・新聞やペープサート，クイズなど，多様な発表方法の指導。
音楽	友達と共に，音楽や生活や社会の中の音に豊かにかかわる。	・音楽活動の楽しさを味わい，音楽を愛好する心情を育むための授業の充実。 ・友達と合わせる，聴き合う，つくるなどの協働的な活動を通して，互いの良さを感じたり喜びを共有したりできる環境作り。
図画工作	自分の発想や構想を大切にし，つくりだす喜びを味わい，豊かな情操を培う。	・資料や参考作品の提示をし，発想や構想を工夫できるようにする。 ・ICT などを活用し，材料や用具の扱い方を明確に理解できるようにする。 ・普段から渡り廊下などに作品を掲示してお互いの作品を鑑賞し合えるようにする。
家庭	家族や地域の人々とのかかわりについて考え，生活をよりよくしようとする態度を育てる。	・日常生活から問題を見いだし，課題を設定する授業の充実。 ・学習内容を家庭にフィードバックする活動への取り組み。 ・ICT を活用し，作業の見通しや用具の扱い方が明瞭に理解できるようにすること。
体育	他者とかかわりながら，心身ともに健全な発達を目指して運動に取り組む。	・課題を見つけ，友達とともにその解決を目指す活動の充実。 ・6 年間を見越した技能等の系統化，カリキュラムマネジメント。
外国語	英語を使って主体的に深く学び続ける意欲を培う。	・見方・考え方を働かせながら，思考力・判断力・表現力をはぐくむ指導の手順を整理する。 ・楽しいコミュニケーション活動の姿をゴールとし，その評価を次の学びに生かす。
道徳科	人権尊重教育の視点に立ち，自分も友達も大切にしようとする心情を養う。	・教材文の分析と主発問，主発問につながる補助発問の吟味。 ・ねらいとする価値に対する自己の振り返りを大切にした授業作り。 ・差別や偏見を許さない心情を育てるための教育活動全体での啓発。
外国語活動	外国語の音声に慣れ親しみ，積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	・AET との会話やチャンツ，ゲームなどの活動の充実。 ・ICT 等で視聴覚教材を活用する。